



いろは通信 春号

早春の候、縁側の陽射しにも暖かさを感じる頃となりました。
今回のいろは通信ではスタッフがいろは草庵おすすめの見方をご紹介します。

いろは草庵は敷地約200坪建坪約85坪ほどの建物です



①入館料を払います。

②受付を済ますとスタッフからパンフレットと館内の案内があります。
順路はないのですが母屋側から観覧



一般:500円
75歳以上:250円
高校生以下:無料

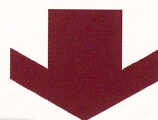


ボランティアガイドさんや学芸員の解説が聞けます。

※学芸員は事前予約が必要です



③母屋をまわり 魯山人を感じてください



④ロビーに移動します



■二階
大正時代に山代旦那衆が好んだ謡の本が展示してあります



■囲炉裏の間
魯山人と山代旦那衆たちとの歓談の場として使用していました



■茶室
魯山人滞在時には茶会が開かれていました



■書斎
魯山人が書や絵を書いていました



■仕事部屋
魯山人が刻字看板を彫るために作業場として使用していました



お茶のおもてなしをしています



■ロビー:四季折々の庭を眺めながらおくつろぎください。

⑤展示室へ移動します



⑥展示室を観覧します。
(最後の観覧です)



■展示室
土蔵を改装し魯山人が彫った看板
やゆかりの作品を展示しています

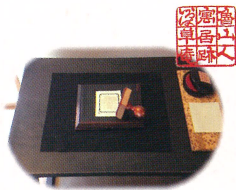
ロビーで四季
折々の庭を眺め、
美意識を深めて
から、魯山人作
品を観覧してい
ただくと感じ方
が変わります。



その他にも...



思い出にいろは草庵の落款を
おしませんか



ロビーでは解説の動画が
見れます



いろは草庵オリジナル商品
や魯山人関連の書籍も販
売しています。
お土産や思い出に..



皆様のご来館を
心よりお待ちしております。

いろはの展示室



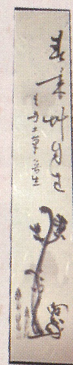
「書の愉しみ」展
魯山人の
原点は書です

今回は、魯山人とゆかりの方々、魯山人を愛した
細野燕台、太田多吉の書を展示します。魯山
人とゆかりの方々の書で観る愉しみを実感して頂
き、あなたにとって「人生を変える書」を見つけて下
さい。

期間:2月8日(木)~3月26日(火)

いろはの一品

《短冊 「春来艸自生」 1500円》



北大路魯山人の書の複製。
「春来艸自生」は魯山人が好んで
いた言葉で、器や絵画で使用され
ています。短冊には、蕨(わらび)の
画が描かれており、この画が言葉
を代用しています。

(春来たりて艸(くさ)自ずから生ず
蕨、土筆とともに出づる)

いろはのうんちく

—いろは草庵の床の間—



床の間の始まりは、身分の高い人が座る場
所といわれていました。時の流れとともにその
目的も変わり、掛軸や生け花、美術品を飾る場
所となりました。



いろは草庵の母屋には、床の間が3室あり季
節にあわせ、室礼をします。また軸に関しては、
魯山人ゆかりの方の作品や、魯山人が滞在され
た時代(大正~昭和の初め)のものを中心にし
ています

※写真は昨年(2017年)の床の間の様子です



いろは草庵スタッフ一同

魯山人寓居跡いろは草庵

いろは通信紙: 春号No.5
発行:2018年2月



〒922-0242 石川県加賀市山代温泉18-5番地
Tel 0761-77-7111 fax0761-77-7110

HP:<http://www.kagashi-ss.co.jp/irohasouan/>
指定管理者:加賀市総合サービス株式会社



はじめました

twitter/facebook/instagram